インド便り　世界は「万華鏡」

浅井美香（高40回）

筆者

海外旅行の添乗員をしている。秘境でも私は海外ならどこへでも添乗する。

ここ21日間はインドに行ってきた。途中2日だけ日本にいたが、インドにとんぼ返りした。お陰で21日間ひたすらインド料理のみ食べ続けた。豆のカレーは中でも基本中の基本というべき料理。あとはほうれん草とチーズのカレー、マトンのカレー、タンドリーチキンなどがよく出てくるが、他にも次から次に新しいものが出てくるので飽きない。果物も豊富だ。6月のインドのマンゴーといったら、日本ではまず食べられない絶品だ。今の時期でもバナナが数種類、りんご・みかん・パパイヤなどいくらでもある。

前半の12日間、添乗したのは、ラジャンスタン州というパキスタンとの国境に近い州。後半の9日間は、シッキム州というネパールとブータンに挟まれたヒマラヤ山麓の州、それに紅茶の里ダージリンだった。標高2千メートルの恐ろしいほどの急斜面を茶畑が埋め尽くし、午後は、霧が立ちこめる。夜になると、人々が暮らす明かりだけの暖かな夜景が谷に広がる。ネオンは全くない。宿は英国植民地時代に建てられた木造の瀟洒なもの。暖炉に当たりながらずっとここにいて至福の時を過ごしていたいと思った。

ダージリンでは、イギリス植民地時代のトイ・トレイン列車が黒煙を上げて今も走っている。出発時間も守られないし、途中で車体を水で冷やしたり、石炭をくべたりする。乗客は下車して、その様子を写真に撮ったりしてのんびりと待つ。その間、何台もの車に抜かれる。しかし、急がない旅ほど楽しい旅はない。

この地方は急斜面が多く、どの家も地面についているのが床の半分くらいで、2本の足が斜面に突き出ている。そんな所でも、軒先では空き缶に、菊やマリーゴールドを栽培している。

村はずれには背丈4メートルほどのポインセチアが先端に真赤な葉をつけて藪になっており、ブーゲンビリアも色とりどりの花をこぼれんばかりに咲かせている。帰国して数日になるが、桃源郷の余韻がまだ残る。

海外旅行をする人にお願いがある。それは日本を一歩でも出たら、誰もがもう日本代表ということだ。そんなつもりがなくとも、実はそう見られている。だから日本人として恥ずかしくない行いを心がけてほしい。具体的には、朝食の料理を間食用に失敬したり、外で買った水をレストランに持ちこんで飲んだり、買い物で大声を上げて値切りすぎたりしないことである。それからもう一つ。冒頭に食べもののことを書いたが、食べ過ぎはてきめん、環境の違いからお腹の調子が悪くなる。旅の鉄則である。

これまで、いろいろの国を周ってきたが、その際のエピソードなどを、『旅する世界は万華鏡』という本にまとめた。世界中どこでも親切で素晴らしい人がいることを書きたくて、手書きのスケッチも入れた。

興味のある方はぜひご連絡を！

(nnnmika69@yahoo.co.jp)

森や花の間を走るトイ・トレイン

もくもくと煙を上げて

四季おりおり

大貫祐子（高4回）

山車を曳く落花の道に踏み込んで

戦人（いくさびと）送りし社頭夏祭

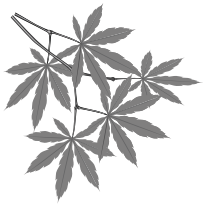
神立（かんだち）の来そうで来ない草の色

風の声木の声溜めて紅葉降る

一つ火の真闇（まやみ）に呑まれ人恋し

息つめて墨つなぎゆく夜の秋

行く秋やこわれ土偶の目の深く



会員だより

高女23回・高1回

私たちは、学制改革のため、高女で卒業した人は高女の23回生・高校に編入した人は高1回となりましたが、共に入学し、5年間を共に学んだ同窓生ですので、「第19回一二三（ヒフミ）会」と名付け、同窓会を続けてまいりました。

本年は4月14日に、小田原報徳会館で43名の出席を得て、楽しい会を持ちました。皆、年こそ重ねてまいりましたが、会えば忽ち少女に戻り、時のたつのも忘れました。

ただ残念なのは、先生方に参加していただけないこと、友だちの中には、体調をくずして参加できなくなった方もおられること、などです。しかし、出席された方は皆お元気で、あの時は、この時は、と花を咲かせました。

予定の時間は忽ち迫り、また次回を約束し、「元気で会おうね」のことばと共にお開きとなりました。

幹事

高7回

私ども高7回生の「卒後50周年記念同窓会」は大磯の滄浪閣で10月28日に開催されました。

当日は天候にも恵まれ、先生9名・同窓生76名と多数の方が出席されました。

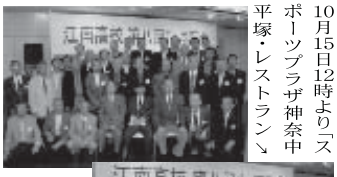
先生方の貴重なお話もあり、会場は終始和やかな雰囲気に包まれ、よく飲みよく語り、オカリナやハーモニカの独奏などもあり、大変盛況でした。

最後に平塚江南高校校歌「山あり　富士ヶ嶺……」を合唱し、次回を約し閉会しました。

先生・皆様、ありがとうございました。　川口　博記

高8回

江南を巣立って50年を目の前に、高8回生同窓会が10月15日12時より「スポーツプラザ神奈中平塚・レストラン↘



↙てんてん」で行われました。

出席者は、井上弘先生・山本武雄先生・嶋津昭二先生と、男性32名・女性32名の皆さん。なつかしい顔に久しぶりに出会い、すぐに当時の若い気持ちにもどり、話に夢中……。和気あいあいのうちに時間が過ぎ、次回の再会を約束して閉会となりました。

幹事

高20回

平成17年10月22日（土）今回で3度目となる、高20回生の同窓会を「ホテルサンライフガーデン」にて行いました。大塚君、笠野君の両代表幹事はじめ、役員10数名で企画準備し、恩師8名（斉藤尚雄・小川治良・松永幸夫・福島弘一・柳田雅美・窪田茂・飯田源治・内藤靖治の諸先生方）学友100余名（二次会含）の参加をいただき盛大に開催されました。

前回から4年を経過し、今回初参加の方も10名程あり、久々にお会いする懐かしさと昔話で、和気あいあいのうちに、あっという↘

↙間に時間が過ぎた同窓会となりました。次回は多くが還暦を迎える4年後に約束をし、名残を惜しんでの散会といたしました。

橋爪記

高26回

「あら、お久しぶり」「ちっとも変わらないわね」。会場のあちこちで再会を喜ぶ声が飛び交う中、高26回生の学年同窓会が11月26日、平塚のホテル・サンライフガーデンで開かれました。

松永先生・相原先生・外山先生をお迎えして、同窓生90人が参加。寡黙な美少年が人当たりのいいおじさんになっていたり、つっぱり君がバリバリの企業戦士になっていたり。それぞれの過ごした年月が顔や雰囲気に表れていて感慨無量の思い。

「ここぞ江南よき窓」と江南生に戻って校歌を歌い、記念写真をパチリ。

文化祭・体育祭・修学旅行などキラキラした時間が胸によみがえり、江南で過ごした日々がそれぞれの今を支えているのだと改めて実感いたしました。

清水典子記

横浜銀行　江麗会のご案内

江南卒業生の企業内同窓会が横浜銀行にあります。昭和59年に小田原支店に勤務していた5人の卒業生が発起人となり発足しました。総勢70数名の会員を持ち、江南の「江」と高麗山の「麗」をとり、横浜銀行江麗会と名づけました。江南高校の卒業生の企業内同窓会は珍しい存在と思います。銀行の管理部門を担当する代表取締役・太田嘉雄氏（高23回）を会長に、営業部門を担当する執行役員・石井允三幸氏（高26回）が中心になり、先輩・後輩の交流を深めつつ、地域に貢献できるよう頑張っています。

松岡　直昭（高14回）

編集後記

平成17年は世界各地での大きな自然災害・そして、戦争という恐ろしいできごとが続きました。18年は平和で明るい世の中を願ってやみません。この厳しい中を、江南高校同窓生は、世界で日本で、活躍を続けておられます。

その同窓生を結ぶ年一回の会報をお届けできるのを幸せと思い編集者一同、未熟ではありますが、心をこめて編集しました。

最近は、個人情報ということで、原稿をいただくのが難しくなりましたが、お差しつかえない範囲で、ぜひお便りください。

編集担当一同

原稿をお寄せください。

会員だよりは、同期会の集まりだけでなく、クラブOB・OG会、グループの活動、趣味の集まり、同窓の方にお伝えしたいこと、などなど、会員皆様の欄です。どうぞ原稿をお寄せください。お待ちしております。

安藤木材株式会社
本社　〒254-0063 平塚市諏訪町4－24
電話 0463（31）0734・（31）4701～2
FAX 0463（32）8627
厚木営業所　〒243-0215 厚木市上古沢400－2
電話 046(247)6009 FAX046(248)2409
安藤哲史（高27回）

タクシーは24時間OKの
0120-44-0006
TEL.0463-31-0006
江南交通㈱
私たちのモットーは
笑顔とまごころのサービスです
鳥海衡一（高26回）

不動産登記・商業登記・簡易裁判所訴訟代理
司法書士　米山利明事務所
〒259-1331 秦野市堀西439番地の6
リバーサイド48－A
TEL.0463-89-3038
FAX.0463-87-1926
米山（飯塚）利明（高27回）

同窓会にご利用下さい
1次会 4,200円（税込）
飲み放題・食事（8品）・時間／3時間
（＋600円でお寿司が付きます）
2次会 2,100円（税込）
焼酎・ウィスキー・ソフトドリンク飲み放題
スナック付・時間／3時間
※1・2次会とも10名様に付き1名様サービス
宮代真平（高13回）
パブレストランよし
平塚市宝町4-7 宝ビル2F（月曜定休）
80坪100名
平塚駅前 パブレストランよし TEL. 21-4417